

バンクーバ留学

熊本高専
電子情報システム工学専攻 2年
トビタテ11期

川上雄大



留学内容

留学目的

サーバサイドのエンジニア活動の経験を
熊本へ持ち帰ること



カナダ



サーバサイド

の勉強に！

活動期間

1ヶ月

活動内容

前半2週間 English class (UBC内)

後半2週間 生体情報系のIT会社
Cytapex Bioinformaticsで
インターンシップ

活動紹介

前半

アカデミックなIT英語の研修

研修内容 (IT英語の勉強
英語研究発表

研修生で研究発表会も 



後半

IT系ベンチャーでインターンシップ

取り組んだ課題 負荷の高い生体情報処理の高速化



について学び、計算環境を作った

成果

サーバのシステム構築の技術
高速処理システムへのコミット
完成まではいかなかった…

困難だったこと

Internshipで専門外技術の英会話に 最初ついていけなかった…

意味のわからない単語が会話に頻出

取り組んだこと

終業後に毎日AWSの公式ドキュメントを読み込んだ！

結果

後半には技術的な議論についていくことができ、
成果を出せた！

熊本高専生は日頃の取り組みから
プログラミングなどの英文ドキュメントを読む癖が
ついていて、短期間でも追いついて力を発揮できた！！

留学先での取り組みも大切だけど
日本での日頃の積み重ねも留学で大切だった



バンクーバーの様子



英語研修を受けたUBC



街は都会だったけど、自然も豊か！

留学後の成果

製作物



帰。



留学で学んだサーバサイドの開発知識を活かして
スマホネイティブアプリ4つ、Webアプリ6つを作成

成果

留学後ハッカソンに10件出場し5件入賞 

※ハッカソンとはハッキング×マラソンを意味する開発系のコンテスト



避難所 IoTで手助け

避難する災害発生初期の避難所運営に役立つシステムをつくりたい。全国の高専の学生と教員が地域防災のアイデアを提案し、自ら検証する高専防災コンテスト（国立高等専門学校機構、国立防災科学技術研究所主催）にて、熊本高専熊本キャンパス（合志市）のチームが特別賞を受賞した。

熊本地震の経験に基づいた、避難所の混雑状況がリアルタイムで表示されるシステムを開発。出入り口に設置した防犯カメラの映像を解析して、避難所の混雑状況や出入りを把握し、混雑状況をインターネット上で共有できる仕組みだ。災害初期に混雑する避難所で自治体職員の手助けをもポイントだ。

避難所の混雑状況がリアルタイムで表示されるため、各市町村の災害対策本部は捜索活動を効率よく配給できるようにする。機器の使用できるような、機器はモバイルバッテリーでも使用可能。比較的安価で、多くの施設に導入しやすいのもポイントだ。

熊本高専生 防災コンテスト特別賞



高専防災コンテストで特別賞を受賞した熊本高専熊本キャンパスの川上雄大さん（中）と蒲田裕也さん（右）、清田公保教授＝合志市

混雑状況共有 効率よく物資

他にも

防災科学技術研究所 防災コンテストにて高専機構賞受賞
(熊日掲載)

将来の夢

熊本と日本/世界を繋ぐ事業を開発

熊本を住みやすい・働きたい街に

現在も、開発系イベントが熊本は少ないので
自力でハッカソンが開催できるよう活動中！

協賛スポンサーが2社つきました！

終わりに

ご支援によって、海外IT企業でのインターンを実現し
多くの成果へとつながり

新たな活動へとつなげることができました。

本当にありがとうございました。

Twitter



Facebook



GitHub



何かあればご連絡ください